

様式第7号 (第7条関係)

支 出 伝 票

湖西市議会議員

氏名 瀧本幸夫

会計年度	令和4年度	支出番号	1		
項目 (□にレ点)	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input checked="" type="checkbox"/> 資料購入費				
合計支出金額		5,580円			
枝番	支出年月日	支出内容	支出先	金額	内 訳
	令和4年 4月22日	資料購入費	赤旗浜松出張所	5,580円	「しんぶん赤旗」 4月～9月分 購読料
				円	
				円	
				円	
				円	
支出目的	様々な考え方や思想を色々な角度から取り入れて吸収し市政との関連を模索し目標達成につなげるための資料とする。				
備考					

※ 領収書は別紙に添付。 ※ 内訳欄に記載できない内容は、備考欄へ記入。

※ 消耗品費や図書費の支出など、政務活動報告書を添付しない支出の場合、支出目的欄に市政との関連性を記入。

領 収 証 瀧 本 幸 夫 様 No. 29

金額 5,580円

内訳
現金 但しんぶん赤旗購読料 2024年4月～2024年9月
小切手 令和4年4月22日 上記正に領収いたしました
手形

消費税額等(%)
消費税額等(%)

登録番号

赤旗浜松出張所 収入印紙
〒415-0002 浜松市中区上島2丁目13-17
TEL (053) 474-2141

OR1821

支出伝票

湖西市議会議員
氏名 瀧本幸夫

会計年度	令和4年度	支出番号	2		
項目 (口にレ点)	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input checked="" type="checkbox"/> 研修費	<input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費	<input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input type="checkbox"/> 資料購入費		
合計支出金額		39,800円			
枝番	支出年月日	支出内容	支出先	金額	内訳
1	令和4年 5月16日ほか	交通費	・東海旅客鉄道株式会社 ・東京都交通局 ・東京メトロ ・JR東日本	18,000円	●旅費内訳書との差額 (120円) ・新幹線復路は自由席利用 ・浅草橋駅前に宿泊し、1日目と2日目の間に都営地下鉄を利用
2	令和4年 5月19日	参加負担金	日本自治創造学会	15,000円	●参加負担金 15,000円 ●振込手数料 円
3	令和4年 5月20日	宿泊費	東横INNアキバ浅草橋駅東口	6,800円	●宿泊費 6,800円 ●夕食加算 円 ※夕食代は請求しない。 ●朝食加算 円
支出目的		日本自治創造学会の研究大会のセミナーに参加するための費用			
備考					

※ 領収書は別紙に添付。 ※ 内訳欄に記載できない内容は、備考欄へ記入。
 ※ 消耗品費や図書費の支出など、政務活動報告書を添付しない支出の場合、支出目的欄に市政との関連性を記入。

No. 52200015541
2022年5月16日

領 収 書

瀧本幸夫 様

金額	百万	千	円
	7	70	00

但し 乗車券類等代金

上記金額確かに領収いたしました 「消費税等込み」

東海旅客鉄道株式会社
新居町駅 現金出納社員

ご利用いただきましてありがとうございます

印紙税申告納付につき名古屋中村税務署承認済

東京メトロ 領収書

ご利用ありがとうございます。
この領収書は大切に保存してください。

お取引内容: きっぷ ¥170

瀧本幸夫

上記金額を領収いたしました。

ご利用日付 2022年05月19日
時刻 12時05分

伝票番号: 07231
東京地下鉄株式会社
池袋駅 券O2発行

領収書

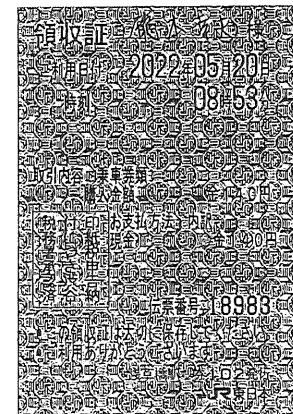
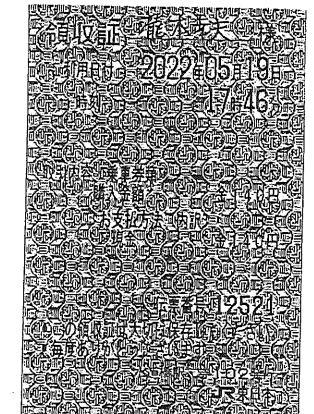
瀧本幸夫 様

ご利用日付 2022年05月19日
時刻 17時32分
カード番号: ----
取引内容: 乗車券購入 金180円

印紙税法
第52条
非課税

伝票番号: 26039

毎度ありがとうございます。
都神保町駅 券 42発行
東京都交通局



領収書

瀧本幸夫 様

ご利用日付 2022年05月20日
時刻 14時36分
カード番号: ----
取引内容: 乗車券購入 金180円

印紙税法
第52条
非課税

伝票番号: 26063

毎度ありがとうございます。
都神保町駅 券 42発行
東京都交通局

領収書

瀧本幸夫 様

ご利用日付 2022年05月20日
時刻 09時09分
カード番号: ----
取引内容: 乗車券購入 金180円

印紙税法
第52条
非課税

伝票番号: 42581

毎度ありがとうございます。
都水越橋駅 券 03発行
東京都交通局

領収書
RECEIPT

〒111-0052
台東区柳橋2-14-4
TEL. 03-5822-1045 FAX
東横INNアキハ浅草橋

お客様 瀧本幸夫 様				
客室番号 (ROOM No.)	人数 (PERSONS)	ご到着 (ARRIVAL)	ご出発 (DEPARTURE)	
1315	1	22.05.19	22.05.20	
日付 (DATE)	摘要 (EXPLANATION)	料金 (CHARGE)	お支払 (AMOUNT PAID)	残高 (BALANCE)
05.19	預り現金 宿泊料	6,800	6,800	0
小計 (SUBTOTAL)		6,800	6,800	0
ご署名 SIGNATURE	収入印紙	ご請求額 AMOUNT DUE		
会社名 FIRM				

ありがとうございます。またのご利用をお待ち申し上げます。
Thank you for your stay with us.
May we have the pleasure of serving you again.
公式HP予約が最安値!! 最大至400 OFF!!
オンラインカード決済ですいすいチェックイン!!
予約はこちら toyoko-inn.com



内消費税
INNER TAX 618 (税 10%)
C/O-No. 97723-1-01 22/05/20
C/O-CD 6

領収証

瀧本幸夫 様 No. 133

金額

715000-

但 第14回 日本自治創造学会研究大会 参加費
2022年 5月19日 上記正に領収いたしました

内訳	
税抜金額	
消費税額等 (%)	

一般財団法人
日本自治創造
理事長 穂坂 邦
東京都千代田区神田佐久間町

コクヨ ウケ-695

様式第8号(第7条関係)

旅費内訳書

出張先: 一橋大学一橋講堂

出張日: 2022/5/19-20

出張者: 滝本 幸夫

区分	行程 (路線名・駅名等)	キロ数	金額	備考	
鉄道賃	JR線 普通	新居町 ⇨ 東京	272.9	4,840	
		東京 ⇨ 新居町	272.9	4,840	
	新幹線 特急等	浜松 ⇨ 東京	257.1	3,930	指定席(通常期)
		東京 ⇨ 浜松	257.1	3,930	指定席(通常期)
東京 メトロ	普通	東京 ⇨ 神保町	2.3	170	
		神保町 ⇨ 東京	2.3	170	
小計			17,880		
代					
代					
小計			17,880 円		
宿泊料	1 泊	13,100 円	13,100		
	泊				
合計			30,980 円		

行程略図

5月19日
新居町
○ 東海道本線
浜松
○ 東海道新幹線
東京
○ 東京メトロ
大手町
○ 東京メトロ
神保町
<セミナー参加>
一橋大学 一橋講堂
都内 (泊)

5月20日
<セミナー参加>
一橋大学 一橋講堂
神保町
○ 東京メトロ
大手町
○ 東京メトロ
東京
○ 東海道新幹線
浜松
○ 東海道本線
新居町

様式第9号（第7条関係）

令和4年 5月 23日

湖西市議会議員 馬場 衛 様

湖西市議会議員 瀧本幸夫

政務活動報告書

下記のとおり政務活動を行ったので報告します。

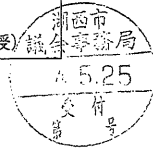
記

項目 (□にレ点)	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input checked="" type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 資料購入費
期間	令和4年 5月19日(木) 20日(金)
場所	一橋大学学術総合センター2階 一橋講堂
内容	<p align="center">変化への挑戦！</p> <p align="center">～元気な地方を作り出す～</p> <p>19日(木)</p> <p>講演1 日本のデジタル政策 (牧島 かれん) デジタル大臣</p> <p>講演2 人口減少、成熟社会のデザイン (広井 良典) 京都大学心の未来研究センター教授</p> <p>講演3 地域活性化に資する経済産業省の取組について (多田明弘) 経済産業事務次官</p> <p>事例発表及びパネルディスカッション～民間人の活躍で地方活性～ 持続可能な地域づくりを目指す海士町の取組 阿部祐志 (株式会社 風と土と 代表取締役)</p> <p>面白法人カヤックの鎌倉での取組と「まちのコイン」 柳澤大輔 (株式会社 カヤック代表取締役CEO)</p> <p>J K、青春、1,000万円</p> <p>若新雄純 (慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科特任教授)</p>

	<p>20日(金)</p> <p>講演4 元気な地域を創るのは、当事者の視点 (山下 剛) 朝日新聞ネットワーク報道本部記者</p> <p>講演5 新しい千葉の時代を切り開く (熊谷俊人) 千葉県知事</p> <p>パネルディスカッション 地方行政のリーダーが語る 変化への挑戦！～元気な地方を創り出す～</p> <p>パネリスト 田中 幹夫 (富山県南砺市市長) 野口市太郎 (長崎県五島市市長) 宮本 和弘 (滋賀県守山市市長)</p> <p>コーディネーター 牛山久仁彦 (明治大学政治経済学部教授)</p>
目的 (市政との関連性)	<p>議員として取り組むべき課題を学び実践に繋げる</p> <p>変化への挑戦！とは</p> <p>日本中にある先進事例に学び我が湖西市政の欲している地域創生の実現を違った角度からサポートしていきたい。</p>
成果	<p>デジタル政策・人口減少・地域活性化施策の事例と方向性を学べた。パネルディスカッションでは民間人の活躍の紹介と地方行政のリーダーが語る元気な地方を作り出すチャレンジはとても参考になった。</p>

報告詳細	別紙参照

- ※ 報告詳細の欄が足りない場合は、別紙を用いること。
- ※ 政務活動を行ったことが分かる資料等（視察、研修会、報告会、会議等）を添付すること。



支出伝票

湖西市議会議員
氏名 瀧本幸夫

株式会社 日経BPマーケティング発行「日経グローバル」を下記の議員で共同購入し、費用は各議員が均等に負担します。

令和4年 5月 27日

会計年度	令和4年度		支出番号	3	
項目 (□にレ点)	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input checked="" type="checkbox"/> 資料購入費				
合計支出金額			13,260円		
枝番	支出年月日	支出内容	支出先	金額	内訳
	令和4年 5月27日	資料購入費	(株)日経BP マーケティング	13,260円	書籍「日経グローバル」 共同購入分
				円	
				円	
				円	
				円	
支出目的	議員活動の参考になる情報を得るため。				
備考					

	議員名	押印	金額	備考
1	馬場 衛		13,260円	
2	竹内 祐子		13,260円	
3	吉田 建二		13,260円	
4	高柳 達弥		13,286円	領収書等 原本保管
5	三上 元		13,260円	
6	瀧本 幸夫		13,260円	
7	加藤 治司		13,260円	

1人あたりの金額：(年間購読料 92,400円 + 振込手数料 446円) ÷ 7人
 = 13,260円 × 6人
 + 13,286円 × 1人 (代表取扱者、端数処理)

振替払込請求書兼受領証

株式会社 日経BPマーケティング

〒 9 2 4 0 0 0

湖西市役所 議会事務局 様

請求コード
10081542202204000001

(商票伝込み) 446 日附印 04-05-27
湖西郵便局

現金払 (23128) #94140001

この受領証は大切に、保管してください。

(ご注意)
 ・この用紙は、機械で処理しますので、汚したり、折り曲げたりしないでください。
 ・この用紙は、ゆうちょ銀行又は郵便局の払込機能付きATMでもご利用いただけます。
 ・この払込書を、ゆうちょ銀行又は郵便局の渉外員にお預けになるときは、引換えに預り証を必ずお受け取りください。
 ・この用紙による、払込料金は、ご依頼人様が負担することとなります。
 ・ご依頼人様からご提出いただきました払込書に記載されたおところ、おなまえ等は、加入者様に通知する場合があります。
 ・この受領証は、払込みの証拠となるものですから大切に保管してください。



※ 領収書は別紙に添付。 ※ 内訳欄に記載できない内容は、備考欄へ記入。
 ※ 消耗品費や図書費の支出など、政務活動報告書を添付しない支出の場合、支出目的欄に市政との関連性を記入。

様式第7号（第7条関係）

支出伝票

湖西市議会議員

氏名 瀧本幸夫

ひろげよう政治をかえる声を力を 社会新報

No. 34

領収証
瀧本さちお様

ご購入ありがとうございます

¥10,560

社会新報 1777 月分 ¥10,560-
月刊社会党 月分 ¥
¥
¥
上記代金として領収致しました

〒430-0835 2022年9月17日
日本共産党静岡県支部 静岡市 3-35-7
分支部
社会民主党静岡県浜松総支部
TEL・FAX (053) 425-2224

会計年度	令和4年度	支出番号	5		
項目 (□にレ点)	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 研修費	<input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費	<input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input checked="" type="checkbox"/> 資料購入費	合計支出金額 5,580円	
枝番	支出年月日	支出内容	支出先	金額	内訳
	令和4年 10月6日	資料購入費	赤旗浜松出張所	5,580円	「しんぶん赤旗」 10月～3月分 購読料
				円	
				円	
				円	
				円	
支出目的	様々な考え方や思想を色々な角度から取り入れて吸収し市政との関連を模索し目標達成につなげるための資料とする。				
備考					

※ 領収書は別紙に添付。 ※ 内訳欄に記載できない内容は、備考欄へ記入。

※ 消耗品費や図書費の支出など、政務活動報告書を添付しない支出の場合、支出目的欄に市政との関連性を記入。

様式第7号 (第7条関係)

支出伝票

湖西市議会議員
氏名 瀧本幸夫

領収証 瀧本幸夫 様 No. 49

金額	7,000
----	-------

内訳
現金 但「湖西市議会」出版印刷料 2023年10月～2023年3月
小切手 / 令和4年10月6日 上記正に領収いたしました
手形 /

消費税額等(%)
消費税額等(%)

赤旗浜松出張所 収入印紙
〒433-0122 浜松市中区上島2丁目13-17
TEL (053) 474-2141

登録番号 081021

会計年度	令和4年度	支出番号	6		
項目 (□にレ点)	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input checked="" type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 資料購入費				
合計支出金額		7,000円			
枝番	支出年月日	支出内容	支出先	金額	内訳
		交通費			●旅費内訳書との差額 (円)
	令和4年 11月15日	参加 負担金	自治体議会研 究所	7,000円	●参加負担金 7,000円 ●振込手数料 円
		宿泊費			●宿泊費 円 ●夕食加算 円 ●朝食加算 円
支出目的	地方議会特別セミナー（議員の資質向上と議会運営の基本）に参加するための費用				
備考					

※ 領収書は別紙に添付。 ※ 内訳欄に記載できない内容は、備考欄へ記入。

※ 消耗品費や図書費の支出など、政務活動報告書を添付しない支出の場合、支出目的欄に市政との関連性を記入。

令和4年11月22日

湖西市議会議員
氏名 瀧本幸夫

政務活動報告書

下記のとおり政務活動を行ったので報告します。

記

項目 (□にレ点)	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input checked="" type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 資料購入費
期間	11月15日(火) 13:30~16:00
場所	豊橋市民センター小会議室
内容	議員の資質向上と議会運営の基本 《改革の底辺から底辺の改革へ》
目的 (市政との関連性)	議員の資質向上 議会運営の基本 議員力・議会力の強化 監視機能の強化 政策提案・政策提言機能の強化 コロナ禍の議会運営
成果	議会の在り方と議員の資質向上を学んだ 当議会でも改革が必要である事が良く分かった。

領 収 書

瀧本幸夫 様

金 7,000 円

上記正に領収いたしました。
ただし、「地方議会特別セミナー」受講料として。
テキスト代 2,000 円を含む。

令和4年11月15日

自治体議会研究所(三重県津市白山町二本木545)

代表 高 沖 秀



様式第7号(第7条関係)

支出伝票

湖西市議会議員

氏名 瀧本幸夫

会計年度	令和4年度	支出番号	7		
項目 (□にレ点)	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input checked="" type="checkbox"/> 研修費	<input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費	<input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input type="checkbox"/> 資料購入費		
合計支出金額		5,940円			
枝番	支出年月日	支出内容	支出先	金額	内訳
	令和4年 11月16日	交通費	東海旅客鉄道 株式会社	5,940円	●旅費内訳書との差額 (円)
		参加 負担金			●参加負担金 円 ●振込手数料 円
		宿泊費			●宿泊費 円 ●夕食加算 円 ●朝食加算 円
支出目的	「第17回災害時のトイレ・し尿処理研修会」参加のため				
備考					

※ 領収書は別紙に添付。 ※ 内訳欄に記載できない内容は、備考欄へ記入。

※ 消耗品費や図書費の支出など、政務活動報告書を添付しない支出の場合、支出目的欄に市政との関連性を記入。

領 収 書		No. 52200018025
		2022年11月16日
瀧本幸夫 様		
金額	百万	千
円	5	940
但し 乗車券類等代金		
上記金額確かに領収いたしました 「消費税等込み」		
東海旅客鉄道株式会社 新居町駅 現金出納社		
ご利用いただきましてありがとうございます		
印紙税申告納 付につき名古屋中村 税務署承認済		

旅費内訳書

出張先: 静岡市清水文化会館マリナート 出張日: 11月16日
 出張者: 滝本幸夫

区分		行程(路線名・駅名等)	キロ数	金額	備考
鉄道賃	JR線	新居町 ⇨ 清水	103.9	1,980	
		清水 ⇨ 新居町	103.9	1,980	
	新幹線特急等	浜松 ⇨ 静岡	76.9	990	自由席
		静岡 ⇨ 浜松	76.9	990	自由席
	線	普通			
小計				5,940	
代					
代					
小計				5,940 円	
宿泊料		泊	円		
		泊	円		
合計				5,940 円	
行程略図					
11月16日 新居町 ◦ 東海道本線 浜松 ◦ 東海道新幹線 静岡 ◦ 東海道本線 清水 ◦ <研修会参加>静岡市清水文化会館マリナート 清水 ◦ 東海道本線 静岡 ◦ 東海道新幹線 浜松 ◦ 東海道本線 新居町					

令和 4年11月 22日

湖西市議会議員 馬場 衛 様

湖西市議会議員

滝本幸夫

政務活動報告書

下記のとおり政務活動を行ったので報告します。

記

項目 (□にレ点)	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input checked="" type="checkbox"/> 研修費	<input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費	<input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input type="checkbox"/> 資料購入費
期 間	令和 4年 11月16日(水)		
場 所	静岡市清水文化会館「マリナート」小ホール		
内 容	地震による被害のほか、近年数多く発生している風水害に伴う トイレ・し尿処理に係る被害者支援の実情を学ぶことにより、 災害への的確な備えを行う。また、業界としては行政の対策に 貢献できるよう取り組みを進める。 講演内容 1. 「災害時におけるし尿の対応について」 環境省関東地方環境事務所資源循環課 巨大災害廃棄物対策専門官 杉山 善昭 氏 2. 災害多発国日本のレジリエンス ～TKBで災害関連死を防ぐ～ 石巻赤十字病院 副院長 植田 信策 氏 一般社団法人避難所・避難生活学会 代表理事 3. 地方公共団体と関連団体との連携による衛生的なトイレ環 境の確保 特定非営利活動法人日本トイレ研究所 代表理事 加藤 篤 氏		

湖西市議会事務局
 2.122
 交付
 号

<p>目 的 (市政との関連性)</p>	<p>市民生活を守るために地震や風水害に伴うトイレ・し尿処理の対応について学ぶため</p>
<p>成 果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・災害廃棄物処理、仮設トイレ、し尿の汲み取りは自治体だけで対策マニュアルを策定するのではなく事業者の意見を取り入れ災害時に円滑な仮設トイレの設置場所や廃棄物の片づけができるように協定しておく必要がある。 ・災害関連死を防ぐためには、安心して使えるトイレ、温かい食事の提供、雑魚寝しないためのベッドが必要であることが理解できた。 ・災害時のトイレ対策としてやるべきことは、1. トイレ対策の司令塔を明確にする 2. 防災トイレ計画を作成する 3. 時間経過に応じて複数の災害用トイレを備える 4. 災害用トイレの使用方法、掃除ルールを周知する 5. 関連団体と連携する体制を構築する 以上の5点がポイントだった。 ・トイレ環境確保のためには事業者との連携が必要。 <p>1. 分散備蓄による携帯トイレ支援と使用方法周知および回収に関する連携 2. 快適トイレの調達・配備と維持管理を徹底するための連携</p>

報告詳細

講演1 「災害時におけるし尿の対応について」

災害廃棄物⇒ごみ置き場の周知（広い土地の確保）⇒事業者団体との平時からの連携体制づくりが必要。

トイレ・し尿⇒水害の場合は便槽に水や土砂が流入し汲み取りの依頼が多数発生⇒地域ごとに汲み取りするなど効率的な対応

⇒仮設トイレの設置（設置場所リストの共有）⇒和式から洋式へ

⇒管理体制の構築（誰が管理するのか？）⇒清潔に保つには住民の意識も重要
設置部署の維持管理の考え方を事前に把握しておくこと

災害時の浄化槽被害対策マニュアル作成⇒平時における災害予防の検討・実施項目や、災害時の浄化槽の緊急対応を明確にし、被害地域の汚水処理システムの迅速な復旧等の実現を図る。⇒いざという時に、どのような行動が必要になるか、事前

にマニュアルを確認しておくことが重要！

講演II 「災害多発国日本のレジリエンス ～TKBで災害関連死～」

平成30年間で災害関連死が約4000人。熊本地震では直接死の4倍。
原因⇒東日本大震災では避難所生活による**心身の疲労**が最も多い。



床での雑魚寝⇒エコノミークラス症候群、粉塵吸入による呼吸器障害、高齢者の生活不活発病、不眠やストレスによる高血圧が認められた。

トイレの不足⇒トイレ利用を減らすために食事や引水を減らす避難者に脱水症状などが起こっていた。

栄養の偏った食事⇒おにぎりや菓子パンなどの炭水化物に偏った食事、タンパク質、ビタミン群の不足により身体機能や活動性の低下をもたらした。



関連死を防ぐために「TKB48」⇒イタリアでの災害対応を参考

TKB48とは、安心して使えるトイレ、温かい食事を提供するキッチン、雑魚寝しないためのベッドを48時間以内に避難所に設置する。



災害関連死を防ぐためには避難所での健康被害の未然防止を図ることが必要でありそのための目標として避難所環境が改善されるよう**TKB48**の全国普及を進めなければならない。被災しても人間らしい生活ができることによって、被災者が自立していくためにも必要なツールである。

講演III 地方公共団体と関連団との連携による衛生的なトイレ環境の確保

被災してトイレに行くまでの時間は3時間以内が4割を占めている。



仮設トイレの設置は3日以内⇒34%

1ヵ月以上かかるところもある14%

トイレを我慢するのは、くさい、汚い、暗い、怖い、寒い、遠い等。

⇒トイレが使えなくなると衛生面の悪化、精神面でも悪循環を生む

切れ目のないトイレ環境にするためには、携帯トイレ（トイレに袋をかぶせる）、簡易トイレ（トイレのない所に設置）、マンホールトイレ、仮設トイレがあ

支出伝票

湖西市議会議員

氏名 瀧本幸夫

るが『トイレがあればよい』という考えは災害時に適用しない
 ⇒災害時だからこそ、安心して使用できるトイレが必要。そのためには、設置ともにトイレの維持管理を業者へ委託する方法がよい。
 ⇒快適なトイレは命を守るためには必要不可欠。
 新潟県地域防災計画第23節トイレ対策計画が明記され、事業の体系においては「トイレ対策の責任部門」を定めている。

所感

災害に命、人々が安心して使える施設と管理がいかに大切であり中でもトイレの充実の重要性を感じてほしい。

※ 報告詳細の欄が足りない場合は、別紙を用いること。

※ 政務活動を行ったことが分かる資料等（視察、研修会、報告会、会議等）を添付すること。

会計年度	令和4年度		支出番号	8	
項目 (□にレ点)	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 研修費	<input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費	<input checked="" type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input type="checkbox"/> 資料購入費		
合計支出金額			17,010円		
枝番	支出年月日	支出内容	支出先	金額	内訳
	令和4年 11月21日	交通費	東海旅客鉄道株式会社	17,010円	●旅費内訳書との差額 (-870円) 新幹線復路自由席 東京メトロは請求しない
		参加負担金			●参加負担金 円 ●振込手数料 円
		宿泊費			●宿泊費 円 ●夕食加算 円 ●朝食加算 円
支出目的		国土交通省ほか陳情活動のため			
備考					

※ 領収書は別紙に添付。 ※ 内訳欄に記載できない内容は、備考欄へ記入。

※ 消耗品費や図書費の支出など、政務活動報告書を添付しない支出の場合、支出目的欄に市政との関連性を記入。

旅費内訳書

出張先: 東京都
財務省・国土交通省・環境省・厚生労働省

出張日: 令和4年11月25日

出張者: 滝本幸夫

区分		行程(路線名・駅名等)		キロ数	金額	備考
鉄道賃	JR線	普通	新居町 ⇨ 東京	272.9	4,840	
			東京 ⇨ 新居町	272.9	4,840	
		新幹線 特急等	浜松 ⇨ 東京	257.1	3,930	指定席(通常期)
			東京 ⇨ 浜松	257.1	3,930	指定席(通常期)
	東京メトロ丸ノ内線	普通	東京 ⇨ 霞ヶ関	2.1	170	
			霞ヶ関 ⇨ 東京	2.1	170	
小計					17,880	17010
代						
代						
小計					17,880	円 17010
日当						
宿泊料		泊		円		
		泊		円		
合計					47,880	円 17010
行程略図						
11月25日 新居町 ◦ 東海道本線 浜松 ◦ 東海道新幹線 東京 陳情・要望活動 東京 ◦ 東海道新幹線 浜松 ◦ 東海道本線 新居町						

駅No 1244 領収書No 34
窓口No 102

領収書

様

金額 ¥17,010円
「消費税等込み」

但し、乗車券類として

上記金額確かに領収致しました

2022年11月21日
東海旅客鉄道株式会社

ご利用いただきましてありがとうございます

印紙税申告納
村につき名古屋中村
税務署承認済

荒津駅

現金出納社員

駅No 1244 領収書No 34
窓口No 102

領収書

様

金額 ¥17,010円
「消費税等込み」

但し、乗車券類として

上記金額確かに領収致しました

2022年11月21日
東海旅客鉄道株式会社

ご利用いただきましてありがとうございます

印紙税申告納
村につき名古屋中村
税務署承認済

荒津駅

現金出納社員

様式第9号(第7条関係)

令和 4 年 12 月 1 日

湖西市議会議員 馬場 衛 様

湖西市議会議員

瀧本幸夫

政務活動報告書

下記のとおり政務活動を行ったので報告します。

記

項 目 (□にレ点)	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input checked="" type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 資料購入費
期 間	令和 4 年 11 月 25 日 (金)
場 所	国土交通省・環境省、財務省、厚生労働省・参議院会館
内 容	<p>令和5年度湖西市要望書の説明と陳情をしました。 <u>国に対する要望事項</u></p> <ol style="list-style-type: none"> 「浜松湖西豊橋道路」の早期実現に向けて 物流機能の向上を図る基幹道路の整備への支援について 「国道1号潮見バイパス」の交通事故削減対策事業の促進と渋滞対策について 一般廃棄物処理施設(ごみ焼却施設、余熱利用設備)・マテリアルリサイクル推進施設(リサイクルセンター)の整備に係る財政支援について 水道スマートメーターの市内全域設置に係る財政支援について
目 的 (市政との関連性)	令和5年度湖西市要望書の説明と陳情

成 果	<ul style="list-style-type: none"> 「『浜松湖西豊橋道路』は必要な道路と認識しているのでしっかり進めていきたい。地方から積極的に要望活動を続けることが早期実現につながるので、活動は続けてほしい。」と、温かい言葉をいただいた。また、地方は都市計画決定等をやるようになるので協力してほしいと言われた。 R4年度補正予算では1兆2500億円の予算計上。道路補正は3300億円(微増)の予算を確保したので進めていきたい。 ⇒要望内容を理解していただいた。 令和6年2月からのごみ焼却施設の再稼働に向け、基幹的設備改良事業及び余熱利用設備整備に二酸化炭素排出抑制対策事業費補助金、リサイクルセンターの長寿命化工事に交付金を活用し事業実施をするためのご理解はいただいた。 水道スマートメーターの財政支援については、IoT活用推進モデルとして市内北部地区の成果と今後の料金体系の見直し等の説明をした。今後市内全域をスマートメーターに変更することで、配水量の平準化、施設の効率化コンパクト化等のメリットを理解していただいた。今後も湖西市をIoT活用推進モデルとして取り組んでいただけるように要望した。
-----	---

<報告詳細>

◎ 国土交通省への要望活動には城内実衆議院議員が同席いただいた。

1 「浜松湖西豊橋道路」の早期実現に向けて

ルート決定：西側ルート⇒三河港と三ヶ日JCTを最も短距離で接続。市街地の間を通過し生活環境への影響を抑制。

↓

令和4年度⇒「都市計画・環境アセスメントを進めるための調査」

⇒5年度予定されている調査を着実に進めることを要望。

2 物流機能の向上を図る基幹道路の整備への支援について

浜名湖西岸土地区画整理事業(約48ha)で、車載用電池の一大生産拠点となる事業が進められている。

↓

国道23号豊橋東バイパスの供用により東西軸の幹線道路のネットワークは形成されたが市内からのアクセスは脆弱。

↓

南北幹線道路となる(都)大倉戸茶屋松線は浜名湖西岸土地区画整理事業により

緑の部分（区画整理事業）は進められているが、赤の部分（市）大倉戸大平線（大倉戸 IC 入口交差点～浜名湖西岸土地区画整理事業区域）を整備できるように国からの財政支援を要望した。⇒社会資本総合整備交付金事業（工業団地アクセス）

3 「国道1号潮見バイパス」の交通事故削減対策事業の促進と渋滞対策について

国道23号豊橋東バイパスが潮見バイパスと合流し交通量が増加した。潮見トンネル付近では追突事故が発生している。⇒景観美が抜群な為県境には工場も多く立地しさらに交通量の増加。

「道の駅潮見坂」には年間80万人の来場者がある。

⇒交通事故対策事業の促進と渋滞対策を要望

4 一般廃棄物処理施設（ごみ焼却施設、余熱利用設備）・マテリアルリサイクル推進施設（リサイクルセンター）の整備に係る財政支援について

基幹的設備改良事業、余熱利用設備整備に対し補助金、交付金を安定かつ継続的に支援をお願いした。

5 水道スマートメーターの市内全域設置に係る財政支援について

令和3年度から4年度の2か年に亘り、生活基盤施設耐震化等交付金（水道事業におけるIoT活用推進モデル事業）を活用して北部地区に水道スマートメーター（1800世帯）、超音波流量計（9基）を設置。

⇒取得したデータを産官学による共同研究



流達状況の把握や残留塩素濃度の動向を把握

超音波流量計から30分間隔で取得するデータ活用⇒漏水の発見

所感

どの部署においても、丁寧な説明に耳を傾け真剣に取り組んで頂ける感じを受けました。

片山さつき代議士への訪問の中でも耳寄りな情報を入手できました。

議員団の要望・陳情活動に実りのある事を願い

今後も続けて行きたいと思います。

